UNDERGRAD

Shape your world

APU

Ritsumeikan
Asia Pacific University

RITSUMEIKAN ASIA PACIFIC UNIVERSITY
立命館アジア太平洋大学

日本（大分県別府市）

SHAPE YOUR WORLD

立命館アジア太平洋大学（APU）は「自由・平和・ヒューマニティ」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として2000年に開学し、真のグローバルリーダーの育成を目的としてこれまでに無い全く新しい多文化学習環境を築いてきました。そして、開学から16年。これまでに世界130を超える国・地域から集まった学生たちが、国や文化、宗教、政治、価値観等の違いを乗り越え、共に暮らし、世界が直面する課題の解決のために学んでいます。
APUの学びの出発点は「世界」。自分を磨き、世界への変化を作り出す一歩が待っています。

1 SHAPE YOUR WORLD
3 APU BY THE NUMBERS
5 APUの教育
7 国際経営学部
9 アジア太平洋学部
11 言語教育
12 講義・科目一覧
13 交換留学
15 課外活動
17 学生生活
21 キャリア教育
23 卒業生の声
25 入学試験ガイド

全てのデータや統計情報は2015年度現在のもの

APU BY THE NUMBERS

5,959 学生数

48.9% 学生に占める留学生の割合

140以上 クラブ・サークル数

83 学生の出身国・地域数

23 教員の出身国・地域数

136 校友の出身国・地域数

協定機関数
66カ国・地域 **426** 機関

交換留学協定校数
40カ国・地域 **123** 校

88 アドバイザリー・コミッティに所属する大使の数

91.0% 就職決定率

3,846 学生の奨学金採用件数

文部科学省より
「スーパーグローバル大学」
に選出（2014年）

EDUCATION THAT INSPIRES YOU

世界的にもユニークな教育環境

好奇心、冒険心、活動的、独創的、ひたむきさ…
これらの言葉は、異文化理解やグローバルビジネスの探求、新しい言語の学習、世界中の課題解決などに熱心に取り組むAPUの学生の様子をよく表しています。APUが提供する世界基準の教育とこれらの精神を合わせもつ新世代のグローバルリーダーをめざして、グローバル社会で活躍する上で必要な知恵や経験、人脈をこのユニークな教育環境で獲得してください。

日英二言語で学修分野を横断する先進的カリキュラム

APUのアジア太平洋学部（APS）と国際経営学部（APM）では、講義のほとんどを日本語と英語の二言語で開講しているため、日本の大学でありながら世界の学生がともに学ぶことを可能にしています。また、学生個人の将来目標にあわせて学部や学修分野を越えての履修ができる等、日々変化する社会に対応できる柔軟なカリキュラムを提供しています。

日本語で学び、英語を身につける

世界での活躍を展望する学生にとって、母語や日本語に加えて英語を習得することは必要不可欠です。そのため、APUでは日本語で専門分野を学ぶとともに英語の習得を目指します。さらに希望者はその他の言語を追加で履修することも可能です（英語基準で入学をした学生は日本語を習得状況にあわせて履修します）。

国際経験豊かな教授陣

数十年に渡り研究者の道を歩んできた教員や国際企業・団体での社会経験を有する教員など、国際社会での豊富な経験を持つ世界23カ国・地域出身の教員により、理論と実践の双方を重視した授業を展開しています。

インタラクティブな授業

APUの授業は知識を詰め込むだけのものでも、教員から教えられるだけのものでもありません。文化や宗教が異なり、これまで歩んできた人生も価値観も異なる学生と教員とが激論を交わす機会を日常的に持つことができる双方向型の授業を通じて、世界が直面する複雑な課題に取り組みます。

学びの場は世界へ

APUの学びは教室での授業や専門書等から知識を得て終わるのではなく、得た知識をキャンパスの外で実践することを重視しています。フィールド・スタディや交換留学、インターンシップ、学術会議への参加等の実践プログラムを積極的に活用することで、得た知識の専門性を高めます。

学部	学修分野
国際経営学部 (APM) 学士（経営学）	・会計・ファイナンス ・マーケティング ・経営戦略と組織 ・イノベーション・経済学
アジア太平洋学部 (APS) 学士（アジア太平洋学）	・環境・開発 ・観光学 ・国際関係 ・文化・社会・メディア

卒業には4年間で124単位を修得することが必要です。また、将来への明確な目標を持つ学生のために、3年または3年半で学士号が取得できる早期卒業制度を用意しています。

COLLEGE of INTERNATIONAL MANAGEMENT [APM]

国際経営学部（APM）

学士（経営学）

アジア太平洋地域の多様な政治、経済、社会、文化等を幅広く理解した上で、ビジネスやマネジメントに関する基礎的および専門的知識や能力を育成するためのカリキュラムで、次代の国際ビジネスリーダーに必要とされるグローバルな視点や問題解決能力を養います。APMでは低回生時に経営学入門やビジネス数学などの経営に必要な基礎を必修科目として学び、それぞれの専門分野を深めていきます。

学修分野

会計・ファイナンス

企業の状態はお金の流れや増減によって判断されます。これを会計といい、企業活動に必要となる資金の調達方法や運用方法の分野をファイナンスといいます。会計・ファイナンスの国際通用性のある深い知識を学び、専門性を養っていきます。

マーケティング

マーケティングコースではグローバル市場においてモノやサービスを生み出す手法を学びます。何を、どのくらい、いくらで、どのように提供すべきか。その理論や手法を学び、世界で活躍できる視野の広い企業人をめざします。

経営戦略と組織

組織が発展し続けるためには、社会的ニーズに応じた目標の設定と目標達成のために一定の行動原理や方法に従って活動することが必要です。国際企業や家業の成功を志向する方に最適な学修分野です。

イノベーション・経済学

イノベーションと効率的な生産管理は企業発展の原動力です。企業に変革をもたらす要因や多様な生産管理の手法、また経済基盤や企業が発展することでもたらされる社会の経済発展についても学びます。

クローズアップ：専門演習I（経営戦略）

経営戦略論とは、複数にまたがる事業をいかに体系化し最適に機能させていくかを学ぶ分野です。この分野では財務企画、マーケティングから人材管理に及ぶまでプロセス全体の戦略を策定、遂行する事を必要とされます。そして企業の資源であるヒト・モノ・カネをいかに最適に動かし、日々変動し続けるビジネス環境にどう適応させていくかを明らかにしていきます。例えば、「不況下に次々と倒産していく会社を横目に業績をあげ続ける企業があるのはなぜだろう」と考えた事はありますか?「管理職チームはどの様に意思決定をするのか?」「CEOはどの様に何千人もの社員を統率しているのか?」これらの疑問は、経営戦略を学ぶ事で解き明かされていく事でしょう。

APUの国際経営学部は、志高く将来性に満ち溢れた学生達が出会う場所です。この環境のもと、互いに刺激しあい、グローバルに活躍できる人材へと育まれていきます。授業や研究、フィールド・スタディを通して専門知識を培うだけでなく、多様な教職員・学生に囲まれるAPUの多文化環境に身を置き互いに影響しあう事で、自ずと社会的スキルも身に付いていきます。卒業後にはコンサルタント、多国籍企業、一般企業、公的機関や非営利団体などでのビジネスアナリストといったキャリアを目指すことが出来るでしょう。しっかりとした土台となる知識をもとに、社会起業家になる事や、大学院進学なども可能です。

私が経営戦略に興味を持ち、教授しようと思ったのはこの分野が、ビジネスを多面的に学ぶ機会を与える事で、学生自身のビジネスパーソンとしての選択の幅を広げ、社会人として不可欠なマネージメントスキルをも身に付ける事が出来ると気づいたからです。
私は自分自身を授業の場ではファシリテーターの役割と位置づけ、学生一人ひとりが積極的に参加しそれぞれの見解や知識、スキルを共有し合う事ができるような学習環境の提供を目指しています。そして私の生徒達に「成長思考（人格や知性は天性のものではなく、行動する事で人は成長しつづけることができるという考え）」を定着させていく事もまた私の目標です。

一個人としても、プロフェッショナルとしても自らを見出し、磨き上げていきましょう。疑問があれば質問をし、議論に参加する。あたりまえと思っていることも、見る視点、立場、国や地域が異なれば変わります。当たり前を疑う事、違いを認め、心と頭をやわらかく、そしてまずは楽しみましょう。学生とはその「立場」を表し、学習者とは学び続ける者の「姿勢」を表すということをぜひいつも心に留めていて下さい。

Lailani Alcantara 准教授（フィリピン）
学位：博士（経営学）、筑波大学

コンサルタント会社を経営する夢を持ち続けていた私がAPUの学修分野の中でも特に強い興味を持ったのは、経営戦略分野でした。APUで培った知識を生かし、スリランカの企業や個人がエネルギー効率の向上と環境負荷の軽減の両方の視点に立ちながら発展ができるように貢献していくつもりです。

APUでは世界各国地域から集まる教授陣のもと、ユニークな教授法を用いた環境で学ぶ事が出来ます。ほとんどの授業がディスカッション主体ですので多くの質問をし、先生方にも積極的に疑問を投げかける姿勢が必要です。特にAlcantara先生の授業では、知識のインプットだけではなく、研究の内容やそのプロセスにおいて私たち自身の裁量に任せられる部分が多くあります。また、失敗から多くを学ぶことが出来るのも先生の授業の特徴です。先生は必ず失敗の原因となった点を指摘し、よりよい結果のためにはどう行動すべきだったかをアドバイスしてくれます。この様に先生の授業を通して、主体的に学び、自らの考えをより深めていく事で、日々成長できているのだと思います。

現在私は4人のクラスメイトと一緒に「アジア地域における文化的タブーを用いた広報活動の有効性」をテーマに研究を進めています。予備研究をAPUのキャンパス内で実施しましたが、これがキャンパス内だけでできるのも、世界80カ国・地域からの学生が集うAPUだからこそなせる業です。最終調査のデータ収集も終わり、今は公な場での発表に向けて、データ分析を進め、研究論文に仕上げていくところです。

APUでは異なる文化や歴史的背景をどう尊重するかだけでなく、異なる前提に立った上で正しくとらえ理解していく事を学びます。多国籍、多文化環境の中、異なる意見をもつ仲間との共同作業においては、つねに辛抱強くあり続けるのはたやすい事ではありませんが、その忍耐力は学ぶ意義のあるものであり、これはまた、私達が暮らす実際の世界の姿でもあります。このような環境下で自らを成長し続けられる事を誇りに思っています。

Amaya Jayasuriya（スリランカ）
APM3回生

COLLEGE OF ASIA PACIFIC STUDIES [APS]

アジア太平洋学部（APS）

学士（アジア太平洋学）

アジア太平洋地域の多様な政治、経済、社会、文化等を幅広く理解した上で、言語や情報技術、調査等の様々な手段を活用して複数の異なる分野を横断的に学ぶことで世界が直面する複雑な課題を解決する力を養います。卒業後は政府、国際機関、旅行業、メディアや多国籍企業等での活躍が期待されます。

学修分野

環境・開発

アジア太平洋地域の将来を考えるには、環境資源への理解が不可欠です。経済優先の開発が環境等の諸問題を引き起こしている今、持続可能な開発は時代の急務となっています。経済発展と環境保全の調和という観点から、各国・地域の制度や法を踏まえた持続可能な開発の方向性について考えます。

観光学

アジア太平洋地域の発展にとって重要なテーマである観光を通じた文化交流、地域・産業振興について、文化、社会、地域といった視点から学びます。さらに、観光ビジネスやサービス産業、福祉・医療の世界でも重視されているホスピタリティ（もてなし）について、理論と実践の両面から学びます。

国際関係

紛争解決・平和構築について考察を深め、複雑化する国際社会の問題解決に取り組んでいける力を養います。国際法、政治学、経済学などを幅広く理解することで、国際関係、紛争解決、平和構築などの分野で必要な批判的思考、政策志向型のアプローチを学びます。

文化・社会・メディア

アジア太平洋地域の文化・社会・メディアの学びを通じて、この地域が抱える諸問題への理解を深めます。この学修分野では、文化と情報技術に関する基礎的学習の上に、カルチュラル・スタディーズやニューメディア研究の視点からより深く探求することで、世界全体を幅広く捉える視点と社会を複眼的に捉える目を養います。

クローズアップ：専門演習I（国際関係）

世界中に広がる民主化の波は、平和維持において民衆の声がより反映され易くなる足がかりとなりました。しかしながら、新たな機会を得るという事は、同時に責任が伴うのも事実です。一市民として、国際関係の複雑さを理解し、必要に応じて意思決定が出来る能力を身に付ける事が不可欠です。ビジネスリーダーとしては、複雑に絡み合った国際安全保障とビジネス環境の全容を把握した上で方策を練る必要があります。

APUの国際関係論に向いているのは、世の中の動きを理解する事に興味があり、どう動かすべきかのビジョンを掲げることができるような学生です。その上で現実に横たわる課題とあるべき姿とを照らし合わせ、教員と共に探り続ける事が必要になるでしょう。この分野での学びを通して培われる論理的思考と批判的思考、交渉能力、高度な意思決定能力などは、企業、NGO、政府を問わず将来どのようなキャリアに進む事になっても役に立つ事でしょう。更により高い専門性を身に付ける事で、外交や、国家安全保障に係る仕事を目指すかもしれません。政府、政府間の多くの組織において、習得した知識やスキルの適用が求められています。大学院への進学後、教員や研究者としてのキャリアへ進む事も選択肢の一つです。

私の役割は、学生自らが本当に面白いと思えるような疑問を論題へと発展させ、答えを導き出す手伝いをする事です。最も興味深い研究テーマとは、他人から与えられるものではありません。
同時に知識の蓄積なくして、興味深い考察テーマが生まれる事もありません。絶えず知識を増やしながら、自分自身の研究テーマを導き出せるよう一人ひとりを指導していきます。毎日1時間程度は最新の国際問題について情報を収集し、歴史を学ぶ、そして国際関係論に係る多方面な物事に関心を持ちましょう。専門分野の研究を深めるのみならず、その他の領域についての豊富な知識を身に付ける事は、どちらも国際関係分野でのキャリア形成において重要な資質となります。

佐藤 洋一郎 教授（日本）
学位：政治学博士、ハワイ大学

APUで国際関係論を学ぶのは、他の場所で学ぶのとはどこかが決定的に違います。80を超える国・地域から集まった仲間と、共に暮らし共に学ぶため、他大学とは全く違う環境下での学びを経験します。また実際にその国・地域の出身者に意見や見解を直接聞けたりするのもAPUの特徴です。

私は現在、佐藤先生の専門演習でアメリカのアジア太平洋に対する外交政策について学んでいます。高度な専門知識もさることながら、佐藤先生はとてもオープンマインドで、国際関係論にまつわるトピックについていつも私達が話しやすい環境を作ってくださいます。毎週の授業では、最新のニュースや、プレスリリース、そして政治家たちの演説などを分析します。現在の問題について歴史的背景にも配慮しながら話し合い、将来の予測にまで言及していきます。

私はインドネシアの国際政策の特に新政府下での海事政策について研究を進めています。私の研究はまだまだ初期段階ですが、この先研究を進めていくのが楽しみで仕方ありません。APUを卒業した後は、大学院への進学をし、国際関係か公共政策分野でキャリアを積んでいきたいと考えています。私がAPUで一人の人としてこれまで学んだ最も大事な事は、自分が慣れ親しんだ状況をあえて超え、新しい事に挑戦し、あらゆる可能性を探っていくことの重要性です。

Vio Nandana Muhammad（インドネシア）
APS3回生

CONNECTED BY LANGUAGE

世界をつなぐ言語教育

国籍や文化等を異にする者たちが理解し合う上で重要なことは互いにコミュニケーションを図ることです。母国でも日本でも第三国でも役に立つ新たな言語をAPUの授業で身に付けてください。

可能性を広げる

コミュニケーションの手段の一つである言語を習得するためにAPUでは日本語で専門分野を学ぶだけでなく、英語を初級から上級まで学生個人の習得状況にあわせたクラス編成により履修できます（英語基準学生として入学をした学生は日本語を習得状況にあわせて履修します）。

バイリンガルからマルチリンガルへ

英語または日本語に加えてもう一言語の習得をめざす学生を対象として、アジア太平洋言語科目（中国語、韓国語、マレー語・インドネシア語、スペイン語、タイ語及びベトナム語）を開講しています。

言語の一歩先へ

英語圏及びアジア太平洋言語圏の大学で行われる短期集中語学研修に参加する言語イマージョンプログラムでは、習得をめざす言語が日常的に使われる環境に身を置くことで運用能力の向上を図ります。

多言語を操れるようになるために言語学習には特に力を入れてきた私は、APUへの入学が決まり、日本語を学ぶ機会を得た時にも何もためらいはありませんでした。私にとって日本語は、難しいというよりは異なるといった方がしっくりきます。日本語にそれまで触れることのなかった私は、まずオリエンテーション期間中にAPハウスで行われたひらがなとカタカナの講座に参加し、授業では日本語初級I・II・IIIと日本語中級を受講しました。授業はとても大変ですが、これまで学んできた言語との大きな相違に早い時期に気づいた上で、学ぶことができました。また、別府でアルバイトをしたことも助けになりました。日本語話者しかいない環境に身を置き、必然的に授業で学んだ日本語を使わなければならず、さながら語学留学のようです。これまで覚えてきた日本語の中で好きな言葉は「わかりました」です。日本語の単語ですら理解できなかった私ですが、言われたことをきちんと理解した上で言える「わかりました」はとても気持ちが良いものです。日本語を学ぶことは確実にみなさんの力の向上につながるので、ミスを恐れず頑張ってください。

Karlton W. Kaunga（ケニア）
APM2回生

SUBJECT LIST

講義・科目一覧

以下は2016年度の科目一覧です。APUでは教学改革を予定しているため、2017年度の科目一覧はアドミッションズサイトをご確認ください。

教養科目

経済学入門
政治学入門
心理学入門
法学入門
環境学入門
開発学入門
国際関係論入門
異文化間コミュニケーション入門
文化・社会学入門
地域学入門
メディア入門
観光学入門
日本国憲法
日本の歴史
日本の経済
日本の文化と社会
経営史
生命倫理
社会科学のための数学
統計学I・II
コンピューターリテラシー
インターネット入門
プログラミングI・II
新入生ワークショップI・II
APU入門
ピアリーダートレーニング I・II（A・B）
ファーストプログラム
キャリア・デザインI・II・III
アジア太平洋の地理
アジア太平洋の言語
アジア太平洋の宗教
アジア太平洋の文化と社会
アジア太平洋のビジネス・経済事情
アジア太平洋の歴史
ブリッジプログラムA・B・C・D・E・F
TESOL I・II
日本語教授法I・II
ビジネス・コミュニケーション
日本の民法
GIS入門
ウェルネス
環境と化学
地球環境科学
データマイニングI・II
インターネット技術統合
インターンシップ
ボランティア研究
日本の伝統芸術A・B・C・D
日英通訳の基礎I・II
ビジネス・ネゴシエーション
データベースシステム
応用プログラミング
メディア制作ラボA・B・C・D
情報科学ラボA・B・C

言語科目

日本語科目
日本語（初級・中級・中上級・上級）
日本語プロジェクト
キャリア日本語
講義の日本語
日本語・日本文化
英語科目
英語（初級・準中級・中級・準上級・上級）
ビジネス英語
英語多読
英語プロジェクト
英語ディスカッションとディベート
英語ビジネス・プレゼンテーション
英語ビジネス・ライティング
アジア太平洋言語科目
中国語I - IV
韓国語I - IV
マレー語・インドネシア語I - IV
スペイン語I - IV
タイ語I - IV
ベトナム語I - IV

APM専門科目

登録必修／コア科目
基礎数学
ビジネス数学
経営学入門
会計学I・II
金融論
マーケティング入門
組織行動論

経営戦略と組織
国際経営論
国際物流論
人的資源管理論
アントレプレナーシップ
国際人的資源管理論
国際比較経営
国際取引
経営戦略論
サービスマネジメント
ファミリービジネス
経営情報システム

会計・ファイナンス
財務会計論I・II
原価会計
コーポレート・ファイナンス
管理会計論
上級会計
国際会計
監査
金融市場と金融制度
国際金融論
投資・証券分析
投資戦略

イノベーション・経済学
マクロ経済学
ミクロ経済学
アントレプレナーシップ
生産管理論
開発・生産システム論
技術経営
オペレーションズ・リサーチ
アジア経済論
国際経済学
国際政治経済学
開発経済学

マーケティング
国際経営論
国際物流論
Eコマース
マーケティング・リサーチ
消費者行動論
国際マーケティング論
マーケティングデータ分析
販売・プロモーションマネジメント
サプライ・チェーン・マネジメント
サービスマネジメント
ブランドマネジメント

APM専門
ビジネス法
会社法
ビジネスエシックス
ビジネス法務戦略

演習・アクティブラーニング
フィールド・スタディ
専門演習I・II
プロジェクト研究
卒業研究
卒業論文

APS専門科目

環境・開発
生物多様性
環境と社会
地球環境問題
開発社会学・人類学
調査研究法（環境・開発）
開発経済学
都市の環境と開発
紛争と開発
国際協力論
開発政治論
環境経済学
産業生態学
GISとリモートセンシング
NGOと開発
コミュニティー開発論
公害・廃棄物処理
開発政策
環境政策
環境モデリング
国際経済学
開発のプロジェクト・マネジメント
エコ・ツーリズム論

文化・社会・メディア
社会理論
ジェンダー研究
社会心理学
カルチュラルスタディーズ
国際社会学
組織社会学
文化人類学
社会階層論
調査研究法（文化・社会・メディア）
メディアと文化
宗教と信仰
メディアと芸術
言語と社会
地域研究I・II
グローバル・ヒストリー
多文化社会論
戦争とメディア
政治とメディア
文学と近代化
テクノロジーとニューメディア
教育と社会
言語と歴史
マイグレーション研究
グローバル化と犯罪
法とメディアと社会
エスニシティと国民国家
遺産・文化観光
NGOと開発
コミュニティー開発論

観光学
観光政策
観光資源評価・管理
観光社会学
調査研究法（観光学）
組織マネジメント
観光学のための会計学
人的資源管理論
観光開発
観光と法
ヘルス&ウェルネスツーリズム
リスク・マネジメントとサービスデリバリー
デスティネーション・マーケティング&ブランディング
ホスピタリティ・マーケティング
オペレーションズ・リサーチ
リゾートマネジメント
ホスピタリティ・マネジメント
旅行産業論
ビジネス・ツーリズム論
エコ・ツーリズム論
遺産・文化観光
開発のプロジェクト・マネジメント

国際関係
国際政治とセキュリティ
アジア太平洋の比較政治経済
政治理論
国際協力論
開発政治論
調査研究法（国際関係）
平和学
国際問題と政策
紛争と開発
グローバル化と地域主義
グローバリゼーションと規範
国際法
国際政治史
アイデンティティと政治
戦略分析と意思決定
国際機構論
冷戦後紛争と地政学
暴力とテロリズム
アジア太平洋における国際関係
国際紛争解決
国際政治経済学
アジア太平洋と人権
アジア太平洋地域システム論

演習・アクティブラーニング
調査・研究入門
フィールド・スタディ
専門演習I・II
プロジェクト研究
卒業研究
卒業論文

BROADEN YOUR HORIZONS

視野を広げる

世界で学ぶという選択肢

APUが学生交換協定を締結している国内外の大学へ、学習目的に合わせて1年または半年間の留学ができます。また、授業料減免は留学中にも継続されるため安心です。

4年間で2つの学位を取得

ＡＰＵでの2年間の学びに加えて、協定大学へ2年間留学することで、両方の大学の学位を取得し、卒業することができるプログラムを実施しています。

世界にはまだ行ったことのない場所が無数にあり、大学生として過ごせる限られた時間をもっと有効に使おうと考えた時に、交換留学について考え始めました。そこで2回生の時にアカデミック・オフィスが主催する留学ガイダンスに参加し、自分の専攻に合うヨーロッパの協定大学を調べ始めました。

最終的に、ツーリズムとホスピタリティを学ぶことのできるオーストリアのザルツブルク応用科学大学へ応募することに決めました。決め手は、ヨーロッパの大学の授業では教室で事例について議論するというスタイルがほとんどですが、この大学ではAPUで好きだった授業スタイルを採用していたのです。例えば、Introduction to Destinationsという授業では、実際に教員やクラスメイトとスキー場を訪れ、現場の商習慣について議論しました。他にはAdvanced Hospitality Managementというホテルやレストランでの計算を必要とする実務系の授業も受講しました。多くの授業は非常にやりがいがあり、おかげでツーリズム&ホスピタリティの現場で働くイメージを描くことができました。さらに、ドイツ語も学ぶことができました。

交換留学に参加したことで、自分に自信が持てるようになり、意思決定をする力や世界を見渡して可能性に目を向ける力が身に付いたと思います。これから入学するみなさんには、留学することを強くお勧めします。非常に多くの経験がみなさんを待っていますし、人脈を広げるだけでなく、一人の人として大きく成長できます。きっと参加しないと後悔するよ!

Warisa Sihirunwong（タイ）
APS4回生

交換留学協定校一覧

アフリカ

ボツワナ
ボツワナ大学

アジア

中国
東北財経大学
香港中文大学
香港城市大学
香港科技大学
香港理工大学
香港樹仁大学
香港大学
IFTマカオ
マカオ大学
上海交通大学
インド
EMPI大学
インドネシア
インドネシア大学
ガジャマダ大学
日本
国際教養大学
大分大学
立命館大学
韓国
東西大学
梨花女子大学
漢陽大学
高麗大学
慶熙大学
釜山大学
西江大学
淑明女子大学
嘉山大学
延世大学
マレーシア
テイラーズ大学
マレーシア科学大学
マラヤ大学
モンゴル
マネジメント・アカデミー
フィリピン
アテネオ・デ・マニラ大学
フィリピン大学
シンガポール
シンガポールマネジメント大学
台湾
国立政治大学
国立台湾師範大学
淡江大学
南台科技大学
東海大学
元智大学
タイ
サイアム大学
マヒドーン大学
タマサート大学
ベトナム
ハノイ工科大学
ブルネイ
ブルネイダルサラーム大学

ヨーロッパ

オーストリア
インスブルック・マネジメントセンター
ザルツブルク応用科学大学
スタイア・スクール・オブ・マネジメント
ウィーン応用科学大学
ベルギー
リエージュ大学
ヴェサリウス大学
クロアチア
ザグレブ経済経営大学
デンマーク
オーフス・スクール・オブ・ビジネス
コペンハーゲン商科大学
コペンハーゲン大学
フィンランド
ローリア応用科学大学
タンペレ応用科学大学
ヘルシンキ大学
フランス
ESCIP
アミアンマネジメントスクール
ネオマ・ビジネス・スクール
パリ経営大学
ドイツ
カール学院国際大学
マクテブルク大学
ツェッペリン大学
ハンガリー
ペチュ大学
アイスランド
アイスランド大学
イタリア
サクロクオーレカトリック大学
ルイージ・ボッコーニ商科大学
リトアニア
ビリニュス大学
オランダ
ライデン大学
ティルバーグ大学
ノルウェー
ビーアイ・ノルウェー・マネジメント大学
ベルゲン大学
ポーランド
ワルシャワ経済大学
ポルトガル
リスボン大学インスティテュート
ISCTEビジネス・スクール
スペイン
アリカンテ大学
コンポステラ大学
スウェーデン
ハルムスタード大学
イェンシェピング国際ビジネススクール
ルンド大学
セーデルテルン大学
リンネ大学
スイス
チューリッヒ応用科学大学
トルコ
イスタンブール商科大学
イギリス
カーディフ大学
オックスフォード・ブルックス大学
ハートフォードシャー大学
ケント大学
レスター大学
ウエストミンスター・ビジネス・スクール

北中南米

アルゼンチン
アルゼンティナ・デ・ラ・エンプレサ大学
ナシオナル・デル・リトラル大学
カナダ
HECモントリオール
サイモン・フレーザー大学
セント・メアリーズ大学
ブリティッシュ・コロンビア大学
レスブリッジ大学
ウォータールー大学
ヨーク大学シューリヒスクールオブビジネス
メキシコ
モンテレー工科大学
モンテレー大学
エクアドル
太平洋大学
アメリカ
アメリカン大学
キャロルカレッジ
ニューヨーク市立大学スタッテン・アイランド校
ジョージア工科大学
グランド・バレー州立大学
ジェームズ・マディソン大学
ミネソタ州立大学モアヘッド校
オールド・ドミニオン大学
セント・エドワーズ大学
ジョージア工科大学
サンディエゴ州立大学
セント・エドワーズ大学
ニューヨーク市立大学バッファロー校
ハワイ大学マノア校
モンタナ大学
ニューメキシコ大学
オクラホマ大学
ウィスコンシン大学オシュコシュ校
ワイオミング大学

オセアニア

オーストラリア
チャールズスタート大学
ジェームス・クック大学
ラトローブ大学
マコーリー大学
西オーストラリア大学
ヴィクトリア大学
サモア
サモア大学

A CAMPUS LIKE NO OTHER

ここでしか経験できない日々

言語や文化、価値観等が異なる世界80以上の国・地域から集まった学生が共に学び、生活するAPUのキャンパスでは、目に飛び込み、耳に聞こえてくるもの全てがこれまでの日常とは全く異なる新たな経験となります。学生たちはこのユニークな環境で様々な課外活動に取り組むことで協調性や主体性を身に付けるとともに貴重な友情を築いています。

マルチカルチュラル・ウィーク

各国・地域の伝統芸術や生活文化を互いにより理解するために、さまざまな国・地域の学生が一体となって「マルチカルチュラル・ウィーク」というイベントを作りあげ、その過程で母国への誇りや他国への尊厳の念を育み、相互理解力・課題遂行力・自主性・協働性といったグローバル人材に求められる力を自然と身につけていきます。

2015年度マルチカルチュラル・ウィーク一覧（50音順）

アフリカンウィーク
アメリカウィーク
インドウィーク
インドネシアウィーク
エンパワーメントウィーク
沖縄ウィーク
大阪ウィーク
韓国ウィーク
スリランカウィーク
タイウィーク
台湾文化ウィーク
中国ウィーク
ネパールウィーク
バングラデシュウィーク
フィリピンウィーク
ベトナムウィーク
レインボーウィーク

クラブ・サークル一覧（一部抜粋）

APU模擬国連
ハビタットAPU
海外教育ボランティア“PRENGO”
グローバルビジネスリーダー
フェアトレード“Ones'l”
APU Debate Society
和太鼓“楽”
合唱“Musy Tone”
よさこい“よっしゃ虎威”
APU茶道部
アニメーション研究会
APUサッカー部
APU空手部
APUヨット部“KrewS”
男女ラクロス部
ラグビー部

YOUR HOME
AWAY FROM HOME

開放的な環境で充実の学生生活

星空を望む天空のキャンパス

APUのキャンパスが立地する海抜約330メートルの丘の上からは、美しい別府湾や山々を一望することができます。そこには現代的な建物に静穏な学習室、フィットネスルーム、キャンパスに隣接する学生寮など、学生が共に学び、生活し、深い絆を築くのに最適な環境が用意されています。

学内施設・設備

・食堂、カフェ、購買、和室、会議室、
　音楽・ダンススタジオ
・ミレニアムホール
・図書館、メディアセンター
・体育館、フィットネスルーム
・テニスコート、多目的グラウンド
・屋外バスケットボールコート
・ヘルスクリニック・カウンセリングルーム
・屋外ステージ
・移動販売
・ATM
・郵便　など

AP HOUSE STATISTICS
APハウスの統計情報

100% 国際学生の入寮（1年間）

378 シェアルーム数

932 個室数

1,127 入居者数

63.5% 入居者における国際学生の割合

54 入居する学生の国籍数

44 共同キッチン数

39,000円 寮費（月額）※

※「留学」以外の在留資格を持つ者の寮費は月額49,000円です。
※費用は変更になる可能性があります

0円 洗濯・乾燥費

0円 インターネット料金

AP HOUSE FACILITIES
APハウスの設備

・シャワーブース
・共同浴場
・コンピュータールーム
・学習室
・購買
・24時間警備
・ビリヤード等の娯楽設備
・バスケットボールコート
・空調

先輩学生による支援

APUでは、教職員からの支援はもちろん、意欲ある先輩学生による支援体制が整っているため、入学初日からスムーズに環境へ馴染むことができます。オリエンテーション、課外活動、日々の学修、就職活動など、支援の輪はキャンパス中に広がっています。

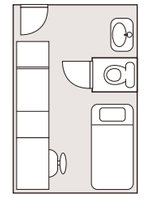
異文化理解が日常になる学生寮

学生寮APハウスは、世界中から集まった仲間たちと日常生活を通じて世界の文化や言語を互いに学べる他には類のない学生寮です。さらに各階に居住するRA（Resident　Assistant）が日本で生活していく上で必要な習慣やルールを教えてくれるため、日本での新生活を始めるのに最適な環境です。

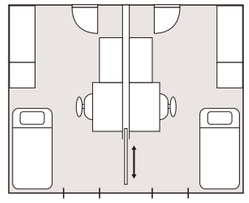
居室の間取り

個室とシェアの2種類のタイプの居室を用意しています。シェアタイプでは原則として日本人学生がルームメイトとなるため入寮初日から国際的な環境に身を置くことができます。また、居室内のドアを閉めることでプライバシーの確保も可能です。

個室



シェアルーム



SETTLING IN

心から落ち着ける街

留学に適した国、日本

世界第3位の経済大国である日本は、世界的にも美しい景色や豊かな伝統・現代文化で知られています。また、最先端の技術力を持ち、世界で最も安全な国としても知られており、安心して学習に集中できます。

国際観光文化都市、別府

日本列島の南に位置する九州の「別府」にAPUはあります。別府は美しい山々や海に囲まれた自然豊かな土地にあり、日本の古き良き伝統と現代文化が共存する魅力的な街です。世界第1位の源泉数、第2位の湯量を誇る温泉地としても有名で、国内外から多くの観光客が集う日本でも有数の観光地となっています。また、別府は国内外のその他の都市と比較しても安全で、生活費を安く抑えることができるため、留学には最適な環境です。

街での暮らし

2回生になりAPハウスを退寮した後は別府市内のマンション等に入居します。国際学生の中には友人とルームシェアをすることで家賃を安価に抑えたり、語学力を大きく向上させたりと生活スタイルは様々です。また、市内にはショッピングモールやカフェ、カラオケ、ボーリングや世界各国のレストランなどがあり便利です。なお、住居探しの際には学校法人立命館が設立した株式会社クレオテックによる紹介・斡旋等のサポートを利用できるので安心です。

日常生活が学びの場

日本では「資格外活動許可証」を取得することで、授業期間中は週28時間（長期休暇中は週40時間）まで働くことができます。アルバイトでは収入を得られるだけでなく、日本企業のサービスやもてなしの精神を学ぶこともできます。ただし、学生である以上はアルバイトを優先しないように注意が必要です。なお、学内でのアルバイトの多くは日本語を必要とはしませんが、学外では会話ができる程度の日本語力は必要です。

健康的な学生生活

清潔で安全な飲料水、新鮮な空気、木々や花が綺麗な公園、体育館やプールなどの運動施設に加え、病院等の医療施設も充実しているため健康的な生活を送ることができます。また、怪我や病気をした際にもAPUの入学者は国民健康保険に加入するため治療費は30%の負担で済みます。

BEPPU AT A GLANCE

数字で見る別府市

120,658 別府市人口

4,168 外国人人口

2,217 源泉数

日本第**1**位、世界第**2**位の温泉湧出量

1,374M 別府で最も高い山：鶴見岳

AVERAGE TEMPERATURE

年間平均気温：

1月 5 ℃ / 41 ℉	4月 14 ℃ / 57 ℉
7月 28 ℃ / 82 ℉	10月 20 ℃ / 68 ℉

POPULAR LOCAL FOOD

地元で人気の食事

- とり天（鶏のてんぷら）
- 地獄蒸し
（温泉の蒸気による蒸し料理）
- しいたけ

CREATING A BRIGHTER TOMORROW

世界へと踏み出す時

理想の将来を描く

APUではキャリア・オフィスが希望の進路を実現するために必要な様々なサポートを行っています。グローバル化した社会で生き抜くために必要な言語運用能力や知識を身に付け、様々な経験を積んだAPUの学生たちの就職内定率は約91.0%と高く、主な進路は製造業や商社、国際機関など非常に多様です。

インターンシップ

産学官連携による重要な人材育成プログラムの1つであるAPUインターンシッププログラムでは、企業や自治体などで実務に挑み、仕事への理解を深めることでキャリアビジョンを明確にしていきます。また、本学と企業・団体が協定を結んでいる「協定型」では、一定条件を満たせば単位として認定されます。

各界の専門家に学ぶ

グローバル企業の経営者や各界のリーダー・著名人をAPUの学内セミナーの講師として招き、複雑化する社会が抱える問題や将来への展望などを大局的な視点から講演いただきます。

人生の岐路に立つ

通常、日本で就職をするためには企業・団体の本社等で行われる選考会に出席する必要があります。しかし、APUには国内外から年間380社以上の企業・団体が学生を採用するために来学し、会社説明会や筆記試験、面接といった採用の一連をキャンパスで実施しているため、大学にいながらにして企業を知ることができます。また、世界中の大学院や全ての講義を英語で開講するAPU大学院への進学を志す学生も少なくありません。

主な内定先企業(2014年度)

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社
アデコ株式会社
株式会社ヴァレオジャパン
株式会社荏原製作所
クラリオン株式会社
株式会社神戸製鋼所
サントリーホールディングス株式会社
JTB Pte Ltd.
新日鐵住金株式会社
石油資源開発株式会社
株式会社東芝
豊田通商アジアパシフィック
日産自動車株式会社
日通商事株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社
日本航空電子工業株式会社
日本電気株式会社
株式会社バンダイナムコゲームス
株式会社日立製作所
富士通株式会社
株式会社星野リゾート・マネジメント
ボッシュ株式会社
三井化学株式会社
株式会社三井住友銀行
三井物産株式会社
株式会社三菱東京UFJ銀行
株式会社ローソン

主な進学先大学院

ノースウェスタン大学大学院(アメリカ)
カリフォルニア大学大学院(アメリカ)
ミシガン大学大学院(アメリカ)
イェール大学大学院(アメリカ)
ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(イギリス)
東洋アフリカ研究学院(イギリス)
マンチェスター大学大学院(イギリス)
オックスフォード大学大学院(イギリス)
サリー大学大学院(イギリス)
オーストラリア国立大学大学院(オーストラリア)
モナシュ大学大学院(オーストラリア)
クイーンズランド工科大学大学院(オーストラリア)
ブリティッシュ・コロンビア大学大学院(カナダ)
トロント大学大学院(カナダ)
ソウル大学大学院(韓国)
ケニヤッタ大学大学院(ケニア)
シンガポール国立大学大学院(シンガポール)
ルンド大学大学院(スウェーデン)
チュラロンコーン大学大学院(タイ)
マンハイム大学大学院(ドイツ)
国連大学大学院(日本)
東京大学大学院(日本)
早稲田大学大学院(日本)
オークランド大学大学院(ニュージーランド)
香港城市大学大学院(香港)

ALUMNI JOURNEYS

卒業生の声

APUで過ごした時間は、これまでで最も素晴らしい私の人生の1ページとなりました。在学中は、様々な文化の違いを持った人たちに出会うことができ、卒業までに、全大陸からの友達をつくることができました。彼らの地域、文化、生活についても教えてもらったこの大学時代の経験を通して「旅を続け、世界を知りたい」という熱い思いが生まれました。APUは学生に様々な経験を積ませることで、世界で起こる問題を理解し、それを解決するための新しい策を考え出す力を身に付けさせてくれます。世界中どこを探しても、このような環境で学位を取れる大学は数えるほどしかありません。

2011年の卒業後は、国際戦略と経済の分野で修士号を取得するため、スコットランドにあるSt. Andrews大学で学びました。修了後、財務省で働くためメキシコに帰国し、3年間働きました。最初の仕事はメキシコ輸銀で本部長のシニアポリシーアドバイザーとして働くことでした。そして、北アメリカ地区の部長となり、メキシコ経済及びアメリカ・カナダとの経済的利害関係について担当しました。中でも忘れがたい経験は、メキシコの交渉チームリーダーとして働いたことです。リーダーとして国連で融資交渉を行った結果、ポスト2015開発を融資するための世界の枠組みであるアディスアベバ行動計画の採用が決まりました。
現在、私は金融犯罪防止対策部門の顧客インテリジェンス地区部長として、HSBCの金融情報機関で働いています。

これからAPUに入学する後輩たちには、世界に興味を持ってほしいというメッセージを残したいと思います。視野を広げ、大きな夢を描いてください。決して自己満足はせず、どんどん挑戦してください。人に優しく、また人として面白みのある、素晴らしい人間になってください!

Diego Carrillo (メキシコ)
APM 2011年卒業
居住地：メキシコ

APUでの思い出は数え切れないほどたくさんあります。中でもリサーチセミナーと、仲の良い友達と過ごした時間は忘れがたい大切な思い出です。また、学業面での目標を達成すべく学ぶかたわら、多くの課外活動に参加する機会がありました。毎年アフリカン・ウィーク（APUで開催される各国の文化を伝え理解し合うためのイベント「マルチカルチュラル・ウィーク」の一つ）に参加し、そのうち2回はリーダーとして活動しました。この経験は、チームワークの形成、企画準備、予算計画や全体の運営など多くの挑戦を通して学べるまたとない機会でした。乗り越えてきたそれぞれの挑戦が私の知識となり、最終的に成長できたと感じました。私は現在、高等国際学の修士号（MAIS）を取得するためオーストリアのウィーンで学んでいます。将来は、仕事を通して、国際安全保障や人権問題の解決に貢献したいと考えています。そして次世代の人たちにとって世界をより良い場所するため、志高い仲間と共に仕事ができる国際連合のような機関で仕事することを目標としています。

APUは教育分野において日本のグローバル化社会の最前線をいく、ユニークな大学です。もし世界の発展や日本の社会と文化に興味があるなら、きっとAPUはあなたにとってぴったりな大学です。国際社会の中で活躍できる社会人として自分を磨きながら、自らを客観的にみつめ成長させる事ができるでしょう。

Wame Gabaake (ボツワナ)
APS 2014年卒業
居住地：オーストリア

APU卒業後は株式会社日立国際電気やイッティージャパン株式会社で働き、その後さらに日本語に磨きをかけAudi Japanに転職しました。そして現在は、アジア地域での金融におけるITの活用で先駆け的企業であるCompare AsiaGroupよりオファーを頂き、香港で仕事をしています。Compare AsiaGroupは、顧客自らがサイトを通して金融、保険商品や通信機器の商品比較を行い、より有益な商品に出会えるよう手助けする会社です。アジア7カ国で150人以上の人材を雇用し、市場価値570億ドル、 Goldman Sachsから資本金4,000万ドルを調達するなど、 投資家からも注目を集める企業です。

実績のあるビジネスモデルを展開しており、毎月二桁成長し続けているこの事業に手ごたえを感じながら、日々忙しく人事マネージャーとしての仕事をこなしています。
私が担当している仕事は7カ国全ての取引市場における人事案件や長期雇用マネジメント戦略です。それぞれの国・地域のチームメンバーと効果的にコミュニケーションを取ることができるのは、多文化環境であるAPUで、異文化への理解を深めることができたからであり、APUでの経験は現在の私のポジションに大きなメリットを与えてくれていると実感しています。目標達成に向け、やる気に満ち溢れた企業の一員として仕事ができることに、とてもやりがいを感じています。

学生生活においてはAPUではすぐに友達を作ることができました。彼らとは今でも交流があり、仲間達と過ごした日々を時折懐かしく思い出します。彼らもまた、世界中の企業で重要なポジションについており、今では私のビジネスパートナーや同僚となっています。別府で共に過ごした仲間達との日々は、いつでも、どこにいても私達を一瞬であの頃のように結び付けてくれます。そんないつでも頼れる存在がいることを本当に嬉しく思います。

Julia Mai Linh Schielke（ドイツ）
APM 2007年卒業
居住地：香港

APUで学ぶことは、日本での就職に向けて、自分にどんな可能性があるのかを、じっくり考える良い機会となりました。実家や自分の家族と遠く離れて生活することは、決して簡単なことではありませんでした。しかし、活気のある大学でのキャンパスライフが、新しい環境に慣れることや自分が思い描いていた理想の大人へと成長する手助けとなったのです。私には空手クラブのメンバーとともに稽古場や地元のイベントで汗を流して得た、たくさんの大切な思い出があります。また、日本企業で働くには欠かせない日本語でのコミュニケーション能力を磨くこともできました。おかげで、卒業後は東京の大手IT企業にシステムエンジニアとして就職も決まりました。

現在は、歯科教育関係の会社で、対中東、アフリカの営業チームリーダーとして働いています。私の役割の中でも重要な仕事は、世界市場のニーズを調査し、開発チームに伝えることです。ここで得た情報により、彼らは効果的で競争力のある新商品を開発できるようになります。APUで培った異文化間でのコミュニケーション能力や問題解決能力は、日々の仕事上で非常に役に立っています。

APUは正課、正課外問わず、学生に多くの機会を与えてくれる大学です。皆さんも自分にぴったりの活動に参加し、自分の可能性を最大限に発揮できることを祈っています。

Safwan Hindawi（日本、前シリア国籍）
APS 2005年卒業
居住地：日本

FEES AND SCHOLARSHIPS

費用・奨学金

入学1年目に必要な費用

	1回生新入学	2回生編入学・転入学	3回生編入学・転入学
標準修業年限	4年	3年	2年
入学金	130,000 円 (1,130 USドル)	130,000 円 (1,130 USドル)	130,000 円 (1,130 USドル)
授業料	1,328,000 円* (11,548 USドル)	1,412,000 円 (12,278 USドル)	1,412,000 円 (12,278 USドル)
住宅補償料・保険料	15,100 円 (131 USドル)	11,530 円 (100 USドル)	7,940 円 (69 USドル)
APハウスの入寮にかかる前納金	188,000 円（4月入学）/ 168,500 円（9月入学） (1,635 USドル(4月入学)/ 1,465 USドル(9月入学))		
APハウスの寮費（月額）	39,000 JPY (339 USドル)	39,000 JPY (339 USドル)	39,000 JPY (339 USドル)

* 2回生～4回生までの年間授業料額は1,412,000円です。
上表に記載のUSドル表示はあくまでも参考です(1ドル115円計算)。支払いは日本円で行う必要があります。
また、上表の金額は変更されることがあります。

入学金
入学手続を行う者は合格発表日から約4週間後に設定された締切日までに入学金の納入が必要です。一旦納入された入学金は理由のいかんに関わらず返還いたしませんのでご注意ください。

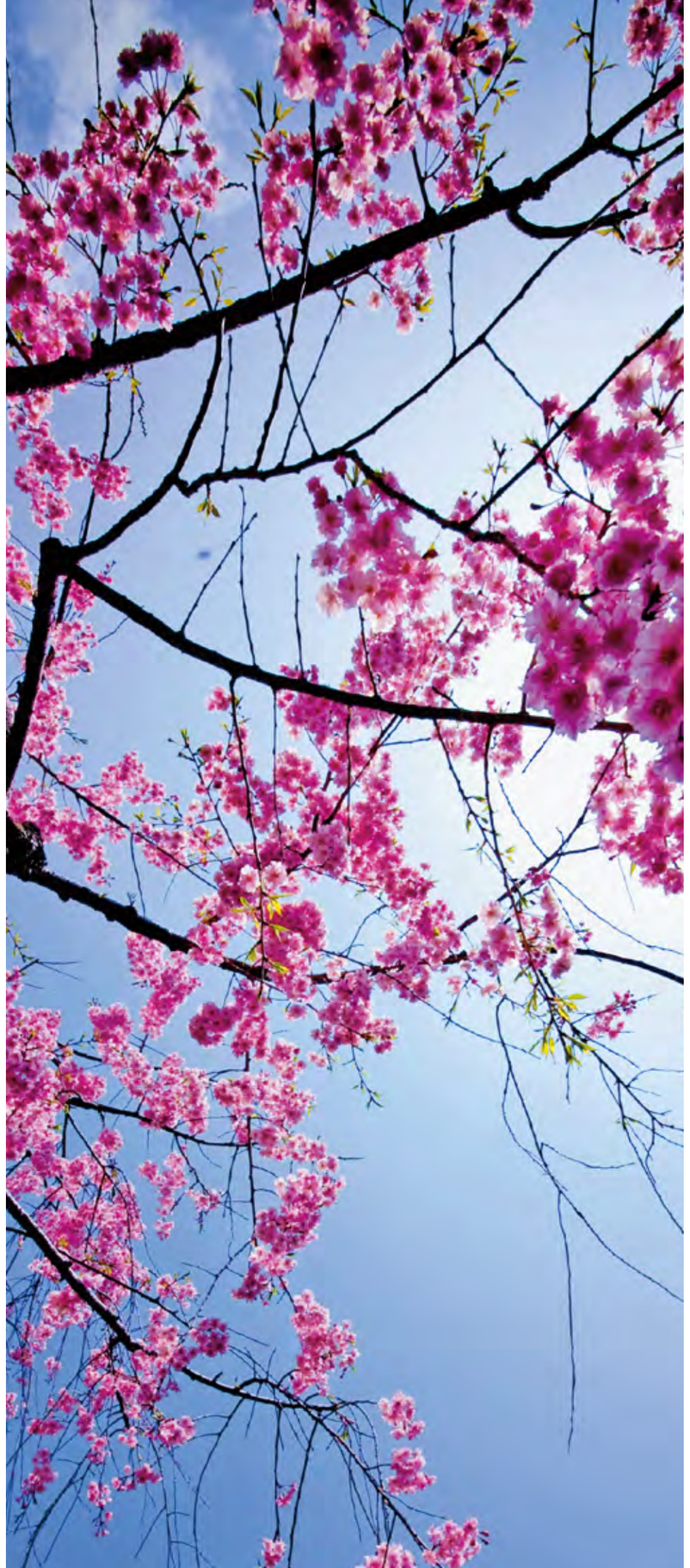
授業料
第1セメスターの一部授業料（APU授業料減免の採用者は予め減額された金額）を入学手続時に納入することが必要です。また年間授業料の残額は入学後に請求されます。

住宅補償料・保険料
本学で学ぶ国際学生の日常生活における賠償責任事故に備え、国際学生全員が加入する保険の費用です。

APハウスの入寮にかかる前納金
国際学生の新入生全員が入寮する学生寮APハウスの前納金として全員が支払う必要のある費用です。
内訳は入居費(32,000円)、敷金(78,000円)、2ヶ月分(4月入学)または1.5ヶ月分(9月入学)の家賃(月額39,000円)です。

生活費
上表に記載の寮費を含めて、日本での生活には年間約90万円(約7,826USドル)が必要です。

奨学金
APUは優秀で経済的に修学困難な学生に対して4年間(標準修業年限)の修学に適用される独自の授業料減免制度(年間授業料額の30%、50%、65%、80%、100%を減免)を設けています。授業料減免の採用者は入学までに留学ビザの取得が必要です。その他、入学後に優秀な成績を修めた学生や在学中に自主活動で成果を上げた学生を対象とした奨学金制度があります。



APPLY TO APU

出願方法

http://admissions.apu.ac.jp

出願期間
2017年4月入学:
2016年6月6日(月)～2016年10月21日(金)
2017年9月入学:
2016年9月5日(月)～2017年3月31日(金)

日本、中国、インド、インドネシア、韓国、タイ、ベトナムに居住する志願者には、上記日程以外の試験日程を設定しています。詳しくはアドミッションズサイトまたは入学試験要項をご確認ください。

出願資格
学歴:
1回生新入学：通常の課程による12年の学校教育を修了した者または修了見込みの者
編入学・転入学：通常の課程による13年もしくは14年の学校教育を修了した者または修了見込みの者
※その他、出願資格の詳細は、入学試験要項をご確認ください。

言語能力の最低基準:

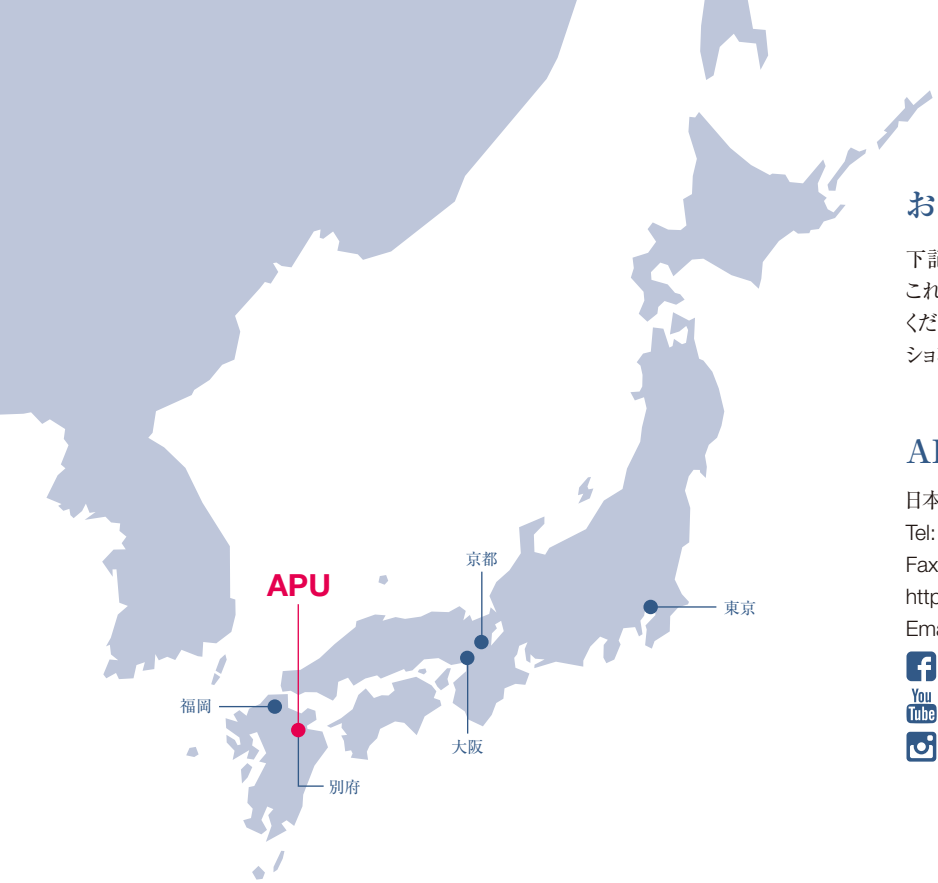
試験	1回生新入学	編入学・転入学
TOEFL® Test (iBT)	61	79
TOEFL® Test (PBT)	500	550
TOEIC® Test	700	780
IELTS	5.5	6.0
英検	準1級	1級
PTE Academic	45	50

試験	1回生新入学	編入学・転入学
JLPT N1	90	100
JLPT N2	100	135
EJU(日本語)*	220	250

*記述を除く

出願手順
■http://admissions.apu.ac.jpでオンライン願書を入力する
■書類を発送する(写真や原本書類等の郵送が必要なもの全て)
■入学検定料をクレジットカード(もしくは銀行送金)で納入する
　日本国外に居住する志願者の入学検定料額：5,000円(小切手の場合8,000円)
　日本国内に居住する志願者の入学検定料額：35,000円
■APUから面接日程の連絡が届く
■面接試験を受ける(オンライン・電話・対面のいずれかで実施)
　※日本国外在住者は、面接のために渡日する必要はありません
■選考結果が届く(オンライン及び郵送)

選考結果には試験の合否に加えて、授業料減免の採否も記載されます。合格者は、入学手続金の納入や入学手続書類の提出を期限内に行うことが必要です。入学手続を完了した合格者については、APUが在留資格認定証明書(COE)の交付申請を代理で行います。合格者は交付されたCOE及び入学許可書を居住国・地域を管轄する日本国大使館または総領事館へ提出し、留学ビザの申請を行ってください。



お問い合わせ

下記の国・地域にAPUの現地オフィス等があります。
これらの国・地域にお住まいの方は現地窓口にお問い合わせください。その他の国・地域にお住まいの方は直接APUアドミッションズ・オフィスにお問い合わせください。

APUアドミッションズ・オフィス

日本国大分県別府市十文字原1丁目1番
Tel: +81-977-78-1119
Fax: +81-977-78-1121
http://admissions.apu.ac.jp
Email: welcome@apu.ac.jp
Ritsumeikan.APU
APUAdmissionsOffice
ritsumeikanapu

APU海外事務所

中国

Ritsumeikan Liaison Office – Shanghai Jiaotong University
D, 18F Shentong Xinxi Guangchang, No. 55, Huaihai West Rd
Shanghai City 200030, China
Tel: +86-21-6283-5104
Fax: +86-21-6283-5247
Email: apuchina@apu.ac.jp

韓国

APU Korea Office
#503, Halla Classic Officetel 5th Floor,
23 Gangnam Daero 84 Gil,
Gangnam-gu, Seoul 135-934 Korea
Tel: +82-2-564-3425/3426
Fax: +82-2-564-3427
http://www.ritsapu-kr.com
Email: hello@ritsapu-kr.com

ベトナム

APU Viet Nam Office
A31D11, Alley 66/1, Lane 84,
Tran Thai Tong St., Cau Giay District,
Hanoi, Vietnam
Tel: +84-4-32-000-619
http://vietnam.apu.ac.jp
Email: vietnam@apu.ac.jp
apuvietnam

インドネシア

APU Indonesia Information Center
C/O MARQUEE, Mayapada Tower I,
11th Floor, Jl.Jend. Sudirman Kav. 28
Jakarta 12920, Indonesia
Tel: +62-21-5289 7328 / 7392
Email: apu-ina@apu.ac.jp
apujakarta

タイ

APU Thailand Office
1015 Room, 10th Floor, Serm-mit Tower
159/16 Soi Asoke,
Sukhumvit 21 Road, Wattana, Bangkok
10110 Thailand
Tel/Fax: +66-2-665-7145
Email: thailand@apu.ac.jp

台湾

APU Taiwan Office
C/O MIBC, F10F., NO. 209, Sec. 1,
Civic Blvd., Datong Dist., Taipei City 103
Tel: +886-2-2181-1666
Email: taipei@apu.ac.jp
APUTW

連絡窓口

インド

Mr. Vishnu Vankayala
4th Floor, Vansh Building, AP-801, 1st Street, G-Block,
10th Main Road, Anna Nagar, Chennai-040,
Tamil Nadu, India
Tel: +91-44-4352-2078
Email: s-india@apu.ac.jp

スリランカ

Mr. Harin Gunawardena
183/1, Nawala Road, Nugegoda, Sri Lanka
Tel: +94-714251314
Email: harin@apu.ac.jp

表紙の「APU2017」はAPUの学生が携帯電話のライトでつくりました。
また、1,500個の竹灯籠はAPUの学生が日本の祭をキャンパスで再現した時の様子です。

STUDY in JAPAN
TOP GLOBAL UNIVERSITY JAPAN

2016年5月発行